

体成分測定結果表

	前々回	前回	今回	前回からの 変化	適正目標	調整値
身長	158.0 cm	158.0 cm	158.0 cm			
体重※	63.5 kg	63.5 kg	65.5 kg	2.0 kg	59.6 kg	-5.9 kg
筋肉量	42.3 kg	42.1 kg	43.3 kg	1.2 kg	38.1 kg	0.0 kg
体脂肪量	18.6 kg	18.9 kg	19.6 kg	0.7 kg	13.7 kg	-5.9 kg
基準値						
BMI	25.4	25.4	26.2	0.8	18.5 ~ 25.0	
体脂肪率	29.3 %	29.8 %	29.9 %	0.1 %	18 % ~ 28 %	
許容値						
腹囲	77.1 cm	80.4 cm	80.4 cm	0.0 cm	90.0 cm未満	
内臓脂肪レベル	7	7	7	0	10 未満	

■筋肉量 内臓筋、心筋、骨格筋を含む、全身の筋肉の量のことをいい、特に骨格筋は骨に付いていて意識的な動きができ、運動、活動により大きく変われる部分の筋肉のことをいいます。

■BMI 国際的な体格指数として使われています。BMI = 体重(kg)÷身長(m)²

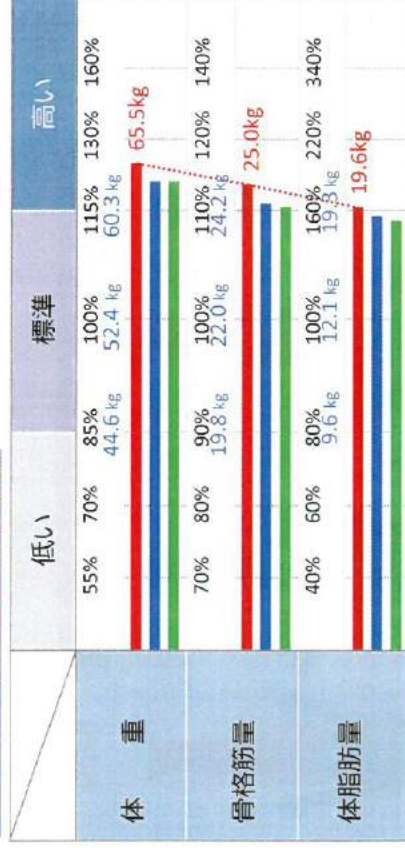
■腹囲 おへそ周りの周囲長を示しています。胴体の電気抵抗を直接測定することので、メジャー測定値との近似値を実現しています。

(男性85cm、女性90cm、18歳未満は性別に関係なく80cmが許容値)

■内臓脂肪 おへそ周りを水平に切った腹部断面の内臓脂肪の多さをレベルで表しています。男女問わず10を超えると注意が必要です。

※体重は参考値です。計量法上の取引・証明用には使えませんがご注意ください。

体重・筋肉・脂肪バランス



体型パターン

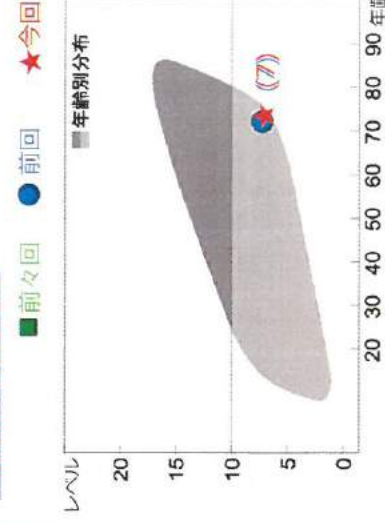


あなたの体格判定は

やや肥満

体重が標準値をかなりオーバーしています。体脂肪率は正常の範囲を若干越えています。肥満という程度ではありませんが正常の範囲に入る様、脂肪がエネルギーになる運動を取り入れましょう。

内臓脂肪レベル



体成分分析

	今回	割合	評価
体水分	33.9 kg	51.7 %	良好
タンパク質	8.9 kg	13.6 %	不足
ミネラル	3.13 kg	4.8 %	不足
体脂肪	19.6 kg	29.9 %	過多

■体水分

■タンパク質

■ミネラル

健康な方は体重の約50%~70%が水分であり、体水分は摂取した栄養素を体の細胞に届け、老廃物を外に排出する運輸の役割をします。体水分量は筋肉の量に比例しますが、疾患によって増えることもあります。

タンパク質は水分と共に筋肉を構成する主な成分です。タンパク質が足りないことは細胞の栄養状態が良くないことを意味します。

ミネラルは骨にあり、人体を支持する役目をします。足りないとう骨粗鬆症や骨折の危険性が高まります。(ミネラルは推定値です)

体成分測定結果表のデータはInBodyの測定データを使用しております。